

翔鸞幼稚園だより



令和4年3月1日 京都市立翔鸞幼稚園 園長 村山 得太郎

令和3年度のしめくくり

今年の冬は近年より厳しい寒さが続いていましたが、最近、少しずつ日差しが柔らかく感じるようになり、春の足音が近づいてきたように思います。3月の挿絵にもありますように3月5日は二十四節気の『啓蟄（けいちつ）』という日で、冬眠していたカエルや虫などの生き物が土から這い出てくるころだといわれています。私たちも3月は別れの季節でさみしい気持ちもありますが、4月からの新しい生活への期待で気分も高揚してくるころだと思います。幼稚園では、遊びを通して成長した様子を生活発表会でお披露目する予定でしたが、昨年に引き続き、残念ながら参観は実施できず、録画したものをDVDで見ていただくことになりました。また、DVDの内容についても、そら組が例年と同じく劇遊びと楽器遊びの本番を録画したものとしましたが、ひかり組は、



普段の遊びの様子、にじ組は普段の遊びの様子と楽器遊びを録画して編集したものにしました。そら組は少ない練習期間でしたが、子どもたちの意見を取り入れながら、素晴らしいストーリーを作り上げ、何回かの練習でしっかりセリフや動きも覚えることができました。楽器遊びもみんなて様々な楽器を演奏してから、楽器を決めました。



また、テレビの画面上ですが、子どもたちを応援していただけようテレビ電話でうちとつ

なぎ、見てもらえるよう

にしました。DVDは修了式までには配布できると思います。楽しみにして待っていてください。

（先日もにじ組でテレビ電話を利用して、お休みしている子どもたちとダンスしたり、お話をしたりして交流をしました。）



3月の主な行事

- 1日（火）交通安全教室（そら組）
- 2日（水）新入園児お招き会
- 3日（木）ひな祭りの集い
- 8日（火）子どもお別れ会
- 9日（水）お茶会（そら組）
- 10日（木）お別れ遠足（京都水族館）
- 16日（水）誕生日会
- ノ・テレ・ノ・ゲーム・ディ 月刊絵本
- 18日（金）修了式（ひかり組・にじ組休園）
- 24日（木）終業式
- 25日（金）春季休業（4月7日まで）
- 30日（水）離任式

※お別れ遠足の詳細は後日連絡します。

※3月22日（火）～28日（月）

そら組預かり保育（新2号認定のみ）

※3月24日（木）～28日（月）

にじ組ひかり組預かり保育（新2号認定のみ）

※今後の感染状況などにより、行事の急な変更も考えられますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

ソニー幼児教育支援プログラム

奨励園を受賞しました！



上の写真は、公益法人ソニー教育財団が主催されている『ソニー幼児教育支援プログラム』で翔鷹幼稚園の研究を論文として応募し、いただいた『奨励賞』の賞状です。ソニー教育財団というのは、子どもたちの『科学する心』を育むための支援をしている団体です。今年度の主題は『科学する心を育てる』～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～となっています。令和2～3年度、翔鷹幼稚園での遊びについて、この視点から担任の先生たちで論文としてまとめました。論文のテーマは、『研究隊員 科学者になる！！』～なりきって遊ぶことで深まる科学的思考～です。子どもたちが遊ぶときに教員が子どもたちと対話しながら環境を整えたり、声をかけたりすることで、『科学する心』を育てていく様子が詳しく記録されています。ファンタジーの世界を楽しむ子どもたちの発見や創造性は大人をはるかに超える豊かさがあります。その中で科学（自然事象の法則性）する心を伸ばせるよう、試行錯誤しながらの実践と考察です。小



学校以降の教育で知識・技能を習得し、幼稚園で育んだ『科学する心』を伸ばしてほしいと願っています。

ひなまつり

(桃の節句)

3月3日はひな祭りです。幼



稚園では、全員で集まらないのでクラス別にひな人形が飾られた遊戯室でひな祭りの集いを行います。起源は、中国から伝わってきた五節句のうちの一つ「上巳の節句」で厄や邪気を払うための行事だったらしいのですが、江戸時代以降は、3月3日にひな祭りで女の子をお祝いし、5月5日に端午の節句で男の子のお祝いをするというようになったようです。どちらも子どもの成長を願う親から子や孫への愛情を注ぐ日本の伝統行事として定着しています。

しっぽとり

2月、寒い日が続きましたが、園庭では、園児たちが元気に走り回っ



ていました。中でも白熱した戦いを繰り広げているのは『しっぽとり』です。鬼ごっこの一種ですが、何人かで一人を狙って取ったり、一人を狙っていたら、後ろから取られたり、それはそれは気の抜けない奥の深い遊びです。運動機能の面ではただ、走るだけではなく、方向を急に変えたり、止まったり、横に動いたり、など多彩な動きがあります。そして、瞬時に対応を考えて臨機応変に動くことで注意力や判断力も鍛えられると思います。人数が揃わないと遊べませんが、これからも楽しんでほしいと思っています。小学校でタグラグビー（しっぽが紐ではなく、平らなタグを腰につけて、取られるとボールを離さなければなりません。つまり、タックルのかわりです。）に取り組み、しっぽ取りからタグラグビー、中学校以後はラグビーをしてくれる子どもがいれば楽しいと思いました。